

＜スポーツ分野＞

■ ■ 1 現状と課題 ■ ■

- 市民の健康志向の高まりと競技力向上の意欲を背景に、子どもから高齢者までの幅広い年代において多様なスポーツを楽しむ人々が増加しています。一方で、障がい者やビジネスパーソン、女性の運動不足、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化の傾向が見られるため、より多くの市民が生涯にわたって日常的にスポーツに親しめるよう、市民意識の向上を図り、スポーツ活動参加への機会づくりに努める必要があります。
- 東京オリンピックを契機として、スポーツに参加するだけでなく、観る・支える機会を増やすことで、市民のスポーツ活動に対する関心を高めることも必要です。
- 地域のスポーツ活動を担う総合型スポーツクラブを支援するとともに、スポーツ少年団等のスポーツ団体を育成していく必要があります。
- 本市においては、これまで、多目的屋内運動場、人工芝サッカーフィールド等のスポーツ施設の整備を行ってきましたが、多くのスポーツ施設で老朽化が進み、慢性的に修繕個所が増加傾向にあるため、市民が安心してスポーツ活動を行えるよう計画的な修繕が必要です。また、スポーツ施設整備に対する市民の要望に沿った整備を進めるとともに、スポーツ施設の集約化を図る必要があります。
- 競技スポーツにおいて、国民体育大会や全国大会への出場者数が減少傾向にあるため、指導者の育成や大学や企業の知見を活用した更なる競技力向上が必要です。
- スポーツツーリズムの推進のため、スポーツイベントや大学の合宿誘致事業を実施していますが、交流人口に減少傾向が見られることから対策が求められます。

— ■■■ 2 基本施策 ■■■ —

スポーツで楽しく元気な人づくり

世代を超えて気軽にスポーツを楽しむ市民を増やすとともに、スポーツ環境や施設の整備を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現と地域活力の向上を目指します。

また、関係団体と連携し、競技力の向上を進めるとともに、地域の特性を活かしたスポーツを推進します。

— ■■■ 3 施策での取組 ■■■ —

(1) スポーツ参画人口の拡大とスポーツ環境の充実

- 子どもから高齢者まで世代に応じたスポーツ活動を行い「1市民1スポーツ」を推進します。
- ビジネスパーソン、女性、障がい者が気軽に親しめるスポーツの場や機会等の環境整備を推進します。
- 学校体育をはじめ子どものスポーツ機会の充実により、運動の習慣化と体力向上を推進します。
- プロスポーツ等の観戦による「観る」機会及び各種スポーツ活動に係わる「支える」機会の提供を推進します。
- 指導者や審判等、スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍できる環境を整備します。
- 総合型地域スポーツクラブの拡充を推進します。
- 適正な施設管理と、利用者の利便性向上のための施設整備を計画的に推進します。

(2) スポーツを通じた共生社会等の実現と地域活力の向上

- 障がい者等、配慮が必要な市民がスポーツを通じて社会参画をする共生社会の実現のため、子どもから高齢者、障がい者、女性も参加できるスポーツイベントやレクリエーションなどを実施します。
- 米沢市スポーツ協会やスポーツ推進委員会等の関係団体と連携し、スポーツを通じた健康長寿の推進に向けた取組を実施します。
- 合宿誘致事業や各種大会の誘致、ホストタウン推進事業を通じた観光、文化等による交流人口の拡充を推進します。

(3) 競技力の向上と地域スポーツの推進

- 米沢市スポーツ協会や企業等と連携し、競技団体による選手の強化や本市出身選手の地元定着に向けた環境整備を促進します。
- 米沢市スポーツ協会を中心とした、ジュニア期からの大学や企業の知見を活用した育成システムの構築と指導者の養成を促進します。
- 大学運動部等の合宿を本市へ誘致し、児童・生徒等とのスポーツ交流を図ります。
- 豪雪地帯の特性を活かしたウインタースポーツやべにばな国体とオリンピックのレガシーを活かした地域スポーツを推進します。

(4) 施策の計画的な推進

- スポーツ推進後期計画の実現に向け、市民の理解と参加を推進する広報活動を実施します。
- 米沢市スポーツ協会や米沢市スポーツ推進委員会等のスポーツ団体とそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、施策の推進を図ります。
- 施策の推進に必要な財源確保のためスポーツ振興くじ助成金の活用や、スポーツに対する寄付等について研究します。
- 施策の進捗状況を米沢市スポーツ推進審議会において定期的に検証します。